

【科研費応募支援ニュースレターNo.6】 発信日 230719 (水)

タイトル_科研費申請書の書き方：「科研費申請書を書き始める前に」／「研究課題名」／「概要」まで

教育職員各位

URA 高木敦子

いつもお世話になり、感謝申し上げます。URAの高木敦子です。

7月14日には科研費公募が開始となりました。

「学内講師による科研費セミナー」も無事4回に渡り、開催することができました。講師の先生方、ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。

科研費応募支援ニュースレター、今回から4回は、申請書の書き方に関する内容を予定しています。

(独)日本学術振興会の小寺孝太郎氏セミナー、水谷夏樹先生・田原弘一先生・木元小百合先生による「学内講師による科研費セミナー」においてお教えいただいたこと、科研費関連本『科研費 獲得の方法とコツ』(児島将康 著)、『できる研究者の科研費・学振申請書』(科研費.com 著)等からの情報、ささやかな自分の経験などから、エッセンスのみですが、本学でも一番申請数の多い「基盤C」申請を想定して、書かせていただきます。

今回は、まず、「科研費申請書を書き始める前に」／「研究課題名」／「概要」までを述べます。

<科研費申請書を書き始める前に>

ずっと採択されている方には縁のないものですが、審査結果開示をまず、ご覧ください。どこが良くて、不採択になったのかの認識を新たにして、特にその部分に注力して作成してください。審査結果開示は一定の期間がすぎるとダウンロードできなくなりますので、きっちりと保存しておいて下さい。産研事務室でもこのデータはみることはできません。研究者ご本人のみのものです。

申請する小区分については、KAKEN データベースを一度ご覧ください。

申請書の内容に最もふさわしい区分、ご自身の課題をもっともよく理解していただける区分が選べると思います。

活用方法1：自分と同じ区分での採択課題はどのようなものがあるか

例えば KAKEN 研究課題をさがす→詳細検索→研究種目から基盤C/配分区分から基金／研究期間に2023、開始年度／審査区分にご自身が申請された区分やこちらにしようかと迷われた区分をいれて、検索してみてください。

活用方法2：自分と同じキーワードをもつ研究課題はどの区分で採択されているか

ご自身の研究のキーワードを入れて検索したときに、どの区分において採択されているかも調べてみてください。

特にはじめて申請される方は、審査のしくみや評価項目について、科研費 公募要領の 24 頁と書面審査における評価基準等

(https://www.jsps.go.jp/file/storage/grants/j-grantsinaid/01_seido/03_shinsa/data/r05/r5hyoutei03_ja_general.pdf) をご覧いただき、ご確認下さい。

<研究課題名に関して>

研究課題名を読むだけで、申請者が何をしたいかがわかるものがないと思います。

使用する語句は専門的・マニアックなものは避けてください。

研究課題名を考えるときのテクニックとして、サブタイトルをつける、「新規な」を入れる、流行りのキーワードを入れるなどがあります。

採択されている研究課題名を KAKEN データベースで見たり、学内の採択者の申請書を産研事務室で見るなどしてみてください。

<「概要」に関して>

「概要」は申請書全部を書いた後、最後に書いてください。「概要」は非常に重要な部分です。児島先生は申請課題が採択されるかどうかは、この「概要」部分のできに、かなり左右されるとまで書かれています。この部分は 10+/-1 行以内で書くのがいいです。

『科研費 獲得の方法とコツ』によると、「概要」には、研究の「背景・問い (4~5 行)」「目的 (2~3 行)」「応用・展開 (2 行)」を忘れずにかくことが大切とのこと。スペースの余裕があれば、簡単に「研究の方法」もかいておくと良いとのこと。私は簡単にでも「研究の方法」も入っている方が絶対にいいのではないかと思います。可能なら、適宜、改行されると読みやすいです。

審査委員が 1 回読むだけで、すっと理解できて、研究課題の重要さが納得できるものにしてください。

次の科研費応募支援ニュースレターは、申請書の「1. 研究目的、研究方法など」の書き方についての内容です。

本学 web サイト【研究・社会連携】科学研究費助成事業】ページ内に、科研費の応募支援に関する情報が掲載されています。

https://www.osaka-sandai.ac.jp/research/grantinaid_scientific_research.html
【パスワード : sanken3001】

これからも、科研費申請や研究に関し、情報共有のためメール発信させていただきたいと思っております。気軽にお付き合いいただき、なにかすこしでも先生方のお役に立てればと願っております。

ご不明点、ご意見などございましたら、メールで URA 高木敦子まで、お伝えいただけますよう、お願い致します。

今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。
失礼致します。